# 第16回　中間市まち・ひと・しごと創生有識者会議　議事録

●日時：令和６年１２月１６日（月） 14時00分～14時30分
●場所：中間市役所別館３階　特別会議室
●出席者
【委員】
内田　晃（公立大学法人北九州市立大学地域戦略研究所　教授）
廣川　祐司（公立大学法人北九州市立大学基盤教育センター　准教授）
大黒　美香（中間市職員労働組合　組織担当執行委員）
岡部　謙治（公益財団法人　地方自治総合研究所　顧問）
住田　晃彦（中間市地域活性化起業人）
冨田　誠二（NPO法人中間市地域活性化協議会　代表理事）
日高　慶太郎（中間商工会議所　青年部）
藤木　智（中間商工会議所　組織運営委員長）
武藤　淳（日本公認会計士協会北部九州会　武藤公認会計士事務所　代表）
八木　秀和（中間市小・中学校PTA連合会　中間東中学校　PTA会長）
【事務局】
井上　篤（未来創造部長）、村上　智裕（未来創造部参事）佐野　耕二（企画課長）、岡田　謙治（企画課企画政策係長）、長野　祐樹（企画課企画政策係）、山口　桃華（企画課広報係）

●議事次第
１．開会
２．議事
（１）中間市デジタル田園都市構想総合戦略（案）に対する
パブリックコメントの結果について
（２）答申（案）について
３．閉会

●議事録
事務局）　皆様こんにちは。
おそろいになりましたので、ただいまから第16回中間市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催させていただきます。
司会を務めさせていただきます。企画課佐野でございます。どうぞよろしくお願いします。これより着座にて進行をさせていただきます。失礼いたします。
本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。まず、本会議は公開ということで、すでに傍聴者の方には入室していただいておりますことを、ご報告させていただきます。また、会議録作成のため録音を行いますことをご了承いただければと思います。
それでは、議事に入ります前に、配付資料の確認をさせていただきます。初めに、本日の会議のレジュメでございます。【資料１】といたしましては、「中間市デジタル田園都市構想総合戦略（案）」の冊子。【資料２】といたしまして、「中間市デジタル田園都市構想総合戦略（案）に関する意見・質問票に対する回答」、最後に「答申（案）」となります。資料が不足されてる方はいらっしゃいませんでしょうか。
それでは、これより議事に移らさせていただきたいと思いますが、発言される際には、まず、挙手をしていただき、指名されましたら、お手元のボタンを押して、ランプが点灯してから発言してください。発言が終わりましたら、ボタンを

もう一度押していただくと、ランプが消え、マイクが消えます。ではここから、内田委員長に進めていただきます。どうぞよろしくお願いします。

内田委員長）　はい皆さんこんにちは。
師走の大変お忙しい時期にお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日の会議は、今年度の最後になるかと思います。戦略案を確定させていただきまして、答申というような流れを皆様にお諮りするということでございます。よろしくお願いいたします。
それでは次第に従いまして、会議を進めさせていただきます。議事次第の１番、中間市デジタル田園都市構想総合戦略（案）に対するパブリックコメントの結果について、まずは事務局より説明をお願いいたします。

事務局）　皆さんこんにちは。
企画課企画政策係長岡田でございます。説明をさせていただきます。着座にて失礼させていただきます。
この度、中間市デジタル田園都市構想総合戦略（案）に対するパブリックコメントを、令和６年 11 月 11 日から 12 月 10 日まで実施をしましたところ、１名の方から１件のご意見をいただいております。いただきましたご意見に関しまして、事務局としての考えをまとめましたもの、併せて案の一部を修正させていただいたものを【資料２】として、本日皆様に配布をさせていただいております。
まず、この【資料２】に沿ってご説明をさせていただきます。【資料２】の１枚目、一番左の欄ですね、番号を振っております。こちらのNo.1 をご覧ください。
こちらがパブリックコメントでいただいたご意見となっております。意見の内容としましては、簡単にご説明をさせていただきますと、デジタル人材の育成を目的に、本市ハピネスなかまの施設を拠点とした環境づくり、という具体的な内容となっております。他地域との差別化を図り、中間市らしい取り組みを進めていくということは非常に重要なものでございます。
しかしながら、総合戦略を作成している段階において、いただいたご意見の内容をそのまま落とし込むということはなかなか難しいと判断をさせていただき、計画の中には今回反映をいたしておりません。
しかしながら、今後の本市のまちづくりを進めていく上での一つのプランとしては、とても貴重なご意見と考えておりますので、今後のまちづくりの一つとして、検討させていただきたいと考えております。パブリックコメントに関しての本市の見解は以上でございます。
続きまして、今回のパブリックコメントと併せまして、再度中身の見直しをかけましたところ、修正すべき点というものが見つかりましたので、今回大きなところだけをご紹介をさせていただきたいと思っております。Ｎｏ.2 ですね。こちら、【資料１】45 ページを開いていただきたいんですけれども、こちらが、基本目標３、中間市の地域資源を活かした新たな人の流れの創出の中の３つ目の取り組みとして、観光の活性化というものを掲げております。修正前は、「にぎわいのある空間づくりや安全安心な市有観光施設の管理を推進するとともに観光案内の充実を図り、観光客受入環境の強化を行います。」というような、表記をさせていただいておりました。
しかしながら、言葉として足らない部分があり、わかりづらいということが、内部でも指摘ございましたので、修正案としましては、「市域におけるにぎわいのある空間づくりを進め、国内観光客及び訪日外国人観光客が安全で安心して利用できるよう市有観光施設を管理するとともに、観光案内の充実を図り、観光客

受入環境の強化に努めます。」というふうに、修正をさせていただきたいと考えております。続きまして、No.3 こちらも事務局においての修正案となっております。
　こちらは、【資料 1】の 48 ページをご覧ください。こちら基本目標４つ目、官民連携や安全・安心な暮らしの確保など時代に合った地域づくりの推進の項目において、中間市第５次総合計画で示す都市構想という考えがございまして、そちらとの関連性を持たせる必要性があるんではないかと判断をいたしまして、最後に言葉を追加させていただいております。
　追加した内容としましては、さらにということで言葉をつなげ「中間市第５次総合計画で示す将来都市構想に基づき、本市の魅力の向上により若い世代の流入を促進するとともに、地域力の向上を図っていくことで将来にわたって持続可能なまちづくりを目指します。」という表現を付け加えさせていただいております。
　この度のパブリックコメント及び事務局の修正案につきましては、簡単でございますが、以上となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

内田委員長）　はい。ご説明ありがとうございました。
　それでは、今ご説明いただきましたパブコメへの回答ですね、それから事務局の修正案について何かご質問、お気づきの点、ご意見等ございませんでしょうか。
　よろしいでしょうか。

【一同意見無し】

内田委員長）　私から１点、２番目の、修正後の文章最後の方で「観光案内の充実を図り観光客受入環境の強化に努めます。」の「充実を図り」と「観光客」の間に点が入ってた方が読みやすいなと思いましたんで、そこだけよろしいでしょうか。「図り観光客」っていうのが読みにくいなと思いました。ぜひ、修正をお願いいたします。

事務局）　はい。そのように修正をさせていただきます。ありがとうございます。

内田委員長）　その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
　特にございませんでしたら、この総合戦略の案についての議事は終了したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【一同意義無し】

内田委員長）　はい、ありがとうございます。
　それでは次に、答申の案についてということで、議題の２番目ですね。事務局より説明をお願いいたします。

事務局）　はい。それでは事務局から説明をさせていただきます。
　これまで委員の皆様に、中間市デジタル田園都市構想総合戦略（案）についてご審議をいただいて参り、数多くのご意見をいただいて参りました。答申書には、いただいた意見を十分に尊重し、記載をさせていただいております。
　本日お配りしております「答申書（案）」という形で取りまとめさせていただいておりますので、中身のご確認をいただきたいと思います。中身に関しては、皆様方からいただいた意見を十分に尊重し、地方創生に向けて鋭意努めること、

デジタルの活用にあたっては、デジタルデバイド（情報格差）が生じないよう、市民の支援をしっかりと取り組むということ、また、効果検証の実施や、指標、目標値について、必要に応じた見直しを適宜行うこと、ということをこのたびの「答申（案）」の中に盛り込ませていただいております。

中間市第５次総合計画で掲げております、将来像である「夢がかなうまち なかま」の実現に向けて、デジタルの力を活用しさらに発展させていくため、総合戦略の策定と展開にあたって、中間市まち・ひと・しごと創生有識者会議からの要望ということで、このたび整理をさせていただいております。

簡単ではございますが、説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

内田委員長）　はい。ご説明ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、何かご質問やお気づきの点等ございませんでしょうか。

【委員挙手】

内田委員長）　はい。お願いします。

委員）　内容については修正等お願いしなくていいかなと思うんですが、１個だけ気になることがありまして、それが 53 ページの KPI の数値のところです。この案を拝見しまして、自治会の加入率のところです。かなり全国的に減ってきてる中、これから増やしていくという、かなり挑戦的な数値というような印象を受けました。その中で 52 ページの具体的な取り組みにあるんですけれども、今、自治会の加入が、実際に若者にとって具体的に何をやってるかがわかりづらいとか、やるべきことの負担感が大きいということがあります。SNS 例えば LINE グループとかを、自治会長で作ったりだとか、役所と SNS 上で情報共有するとかっていう取り組みが、いろんな自治体で始まってきています。なのでここの星マークに、SNS 等を活用できるような環境整備に取り組みますと書いてあるところなので、もちろん実施計画レベルでいいと思うんですけれども、加入率を落とさずに上げていくためにも、例えば SNS の LINE グループを作って、情報発信を丁寧にやっていくとかをですね、この挑戦的な数字を達成するためにも、力を入れて実施計画等で意識して取り組んでいただきたいなということを感じましたので、あくまで補足ですが意見をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

事務局）　はい。貴重なご意見本当にありがとうございます。おっしゃるとおりなかなか自治会の加入率を向上させるっていうのは、ハードルが高いことだと認識しております。今ご指摘いただいた内容等を踏まえて、担当部署とも情報共有しながら、この目標値、KPI を達成できるよう努めて参りたいと思っております。どうもありがとうございます。

内田委員長）　はい。その他いかがでしょうか。

【一同意見無し】

内田委員長）　それでは特に他にご意見もないようですので、この「答申（案）」の通り市長

に、委員長の方から答申をさせていただきたいというふうに思いますが、よろしいでしょうか。

【一同異議無し】

内田委員長）　はい。ありがとうございます。
それでは、この内容について、答申することといたします。

事務局）　はい。ありがとうございました。
今後事務局において、先ほど文字訂正がございましたので、誤字脱字等ございましたら、調整をさせていただきます。なお、審議については、今回をもって終了となります。この総合戦略は、本市が目指す地方創生の取り組みの根幹となるものですので、しっかりと全庁的に取り組んで参ります。
内田委員長、廣川副委員長、委員の皆様、長期間にわたり、ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。ここで会を代表いたしまして、内田委員長からご挨拶を賜りたいと思います。内田委員長よろしくお願いいたします。

内田委員長）　それでは、代表しまして、内田の方から最後に挨拶をさせていただきます。
この中間市デジタル田園都市構想総合戦略ですけども、今年の８月に諮問を市長の方から受けまして、皆様方にお集まりいただきまして、議論を進めて参りました。特に今までは、まち・ひと・しごと創生総合戦略と言ってたかと思うんですけども、これが令和６年度で終わりということで、新たに国の方針を受けて、デジタル田園都市構想という、デジタルを活用して、今のご時世も皆さんスマートフォンを使っておられると思うんですけども、一人一人がデジタルデバイスを持っていろんな情報を得て、そして情報だけではなくて、いろんな生活の中でデジタルデバイスを使ってサービスを享受できるようになっていると。
中間市でも、こういったデジタル技術それからデバイスを使ってですね、市民サービスをより充実させる、そういったことを目標にして今回はデジタル田園都市構想という形で、かなりこのデジタル・DX の趣旨が入り込む計画ということになりました。
当然、令和７年度からの５年間の戦略ですけども、毎年毎年、検証をしていく必要がございます。この会議がおそらくチェックをするといいますか、進捗管理、それから時点修正をやらないといけない局面も出てくるかもしれませんし、いろんな意味でチェックを求められる、そういう役割を担っているかと思いますので、どうぞ委員の皆様におかれましても、来年度から始まるこの総合戦略については、しっかりとモニタリングしていただきまして、検証にご協力いただければいいかなというふうに思います。
この戦略はもちろん作って終わりではありませんので、これを現実に落とし込んで、そして効果的に施策を実施していく必要があるかと思いますので、現場の市役所の皆さんにおかれましては、数値目標も示しておりますので、この数値目標に向かって、これが実現できるように、また、実現できたらさらに高みを目指していけるように、推進をしっかりとしていただければありがたいなというふうに思います。おそらく、この会議のメンバーもそういうふうに、思っておられるかと思いますので、今後とも、我々有識者会議のメンバーも、そして、進捗をする市役所の方でも、もちろんその市民の力を借りてっていうことになるかと思いますけども、この総合戦略が機能的になりますことを願いまして、私の最後の挨拶とさせていただきます。

有識者会議のメンバーの皆様、本当にご協力いただきまして、いろんな意見をいただきましてありがとうございました。改めて私の方からも御礼を申し上げます。以上でございます。

事務局）　内田委員長ありがとうございました。
本日、審議を踏まえて委員長から、市長へ答申書を提出していただきます。
それでは、本日予定いたしました議事はすべて終了いたします。中間市の将来を展望した計画となるものですので、皆様方には、今後とも格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。
以上をもちまして、第１６回中間市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。